

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

ワンマン運転ただちに中止を

外房線 倒木ぶつかり停車、ガラスにひび

ワンマン運転では事故対応や安全確認できない

約11時間にわたる運転見合わせ

5月22日午前6時35分頃、JR外房線・御宿―勝浦駅間で、下り普通電車（8両編成）が線路内の倒木に衝突し、約11時間にわたって運転見合わせとなりました。



運転席の前面ガラスにひびが入る事故でしたが、幸い乗務員・乗客にケガはありませんでした。乗客は約8百計離れた御宿駅まで歩いて移動し、大原―安房鴨川駅間では代行バスが運行されました。

内房線では倒木でパンタ破損

2月17日には内房線・千倉―千歳駅間でE131系4両編成が沿線の倒木と接触し、先頭車両のパンタグラフが大きく破損しました。

千倉駅を発車後に運転士が空転を感じてノッチをオフにし、千歳駅まで惰行運転を行いました。駅で車両点検を行い、パンタグラフの破損

が発見されました。ところが、検査派出が廃止・縮小される状況の中で、第一陣が千葉派出から到着したのは2時間後でした。対応は午後を過ぎても終わりませんでした。

ワンマン運転拡大は安全放棄

今回はどちらの事故も、ワンマン運転ではありませんでした。もしワンマン運転であったとすれば、乗客対応や事故対応・安全確認、すべての判断も運転士一人で行わなければなりません。

ワンマン運転は、ドアの開閉や乗客対応など、運転士が運転しながらすべて一人で行わねばなりません。特に事故の際には緊張や混乱が生じ、普段と同じ状態で対処できません。ワンマン運転の負担は、車掌が乗車している時とは桁違いに重くなります。

*

列車の安全は、運転士と車掌で守っています。運転士の負担増加は安全破壊に直結します。ワンマン運転拡大―車掌の削減は鉄道の安全放棄です。